

【参考】利益剰余金

2023 年度の利益剰余金は約 601 兆円

※製造業（全規模）215 兆円、非製造業（全規模）386 兆円

（1）財務指標の説明

利益剰余金は、当期純利益から株主への配当金等を控除した額（フローの内部留保。社内留保とも言われる。）が蓄積されたものであり、いわゆる（ストックの）内部留保の金額として広く用いられています。また、貸借対照表の純資産の部に蓄積された利益剰余金は、資産の部において、現金・預金のほか、有形・無形固定資産など様々な形で再投資されています。

**利益剰余金 = 利益準備金 + その他の利益剰余金
（積立金 + 繰越利益剰余金）**

貸借対照表

資産の部		負債の部	
I 流動資産		I 流動負債	
II 固定資産		II 固定負債	
III 繰延資産			
		純資産の部	
		I 株主資本	
		利益剰余金	
		II 評価・換算差額等	
		III 新株予約権	
資産合計		総資本（負債・純資産合計）	

損益計算書

I 売上高	
II 売上原価	
	売上総利益
III 販管費	
	営業利益
IV 営業外損益	
	経常利益
V 特別損益	
	税引前当期純利益
VI 法人税等	
	当期純利益

(2) グラフで見る最近の動き

2023年度は、製造業、非製造業とも企業収益が改善する中で利益剰余金は増加を続けており、全産業では過去最高を更新しています。

